



ぼくはキヨロキヨロ



















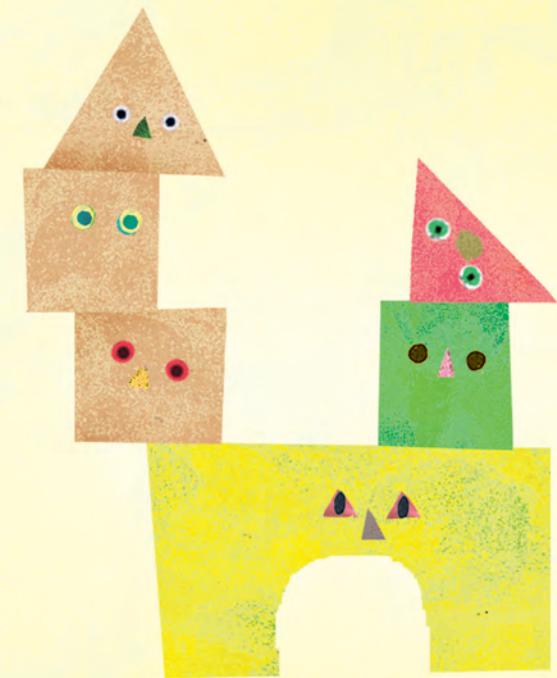
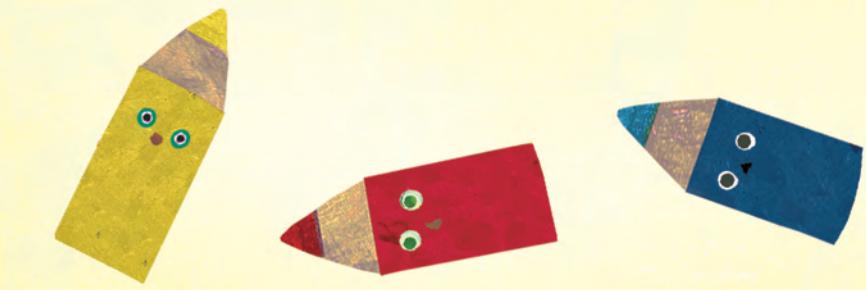














エコ間伐紙を使用しています。



ナレーション

ぼくはキヨロキヨロ

(――ぬく――)

【演出ノート】



ぼくはキヨロキヨロ

ナレーション

ぽかぽかしたひかりがあたたかい朝。  
ひかりちゃんが、おかあさんと一緒に、  
朝ごはんを食べています。

【演出ノート】

ひかりちゃん

「おかあさんの朝ごはん、おいしいな。  
今日はね、  
おかあさんがわたしのために、  
新しい木のスプーンを  
用意してくれたんだよ」

あかるく元気に！

(――半分までぬく――)

ひかりちゃん

「あれれ？」

スプーン

「キヨロキヨロ、キヨロキヨロ。

キヨロロ、キヨロ」

驚いて

(――全部ぬく――)



ぼくはキヨロキヨロ

ひかりちゃん

「わあ、

このキヨロキヨロはなんだろう?」

【演出ノート】

ナレーション

ひかりちゃんはスプーンに、  
もあるくつてくりくりの、  
『ぬ』を見つけました

(——ぬく——)



ぼくはキヨロキヨロ

ひかりちゃん 「あれれ？」

「ひつちにも、あつちにも！」

ナレーション ひかりちゃんはおうちのなかにも、

キヨロキヨロがたくさんいることに

気がつきました。

さあ、みんな、

どこにキヨロキヨロがいるかわかるかな？

そうだね。

いっしょにあそぶ、つみきにキヨロキヨロ。

そうそう。

みんなですわる、じすにキヨロキヨロ。

ここにもいるね。

じはんをたべる、おわんにキヨロキヨロ。

どうしてキヨロキヨロの『わ』が

つじているんだろう？

(――ぬく――)

子どもたちに  
問いかける

【演出ノート】

子どもたちに  
問い合わせる

キヨロキヨロを  
指差しながら、  
子どもたちの  
返答を促す

ぼくはキヨロキヨロ



ナレーション キヨロキヨロをもつと見つけるために、

ひかりちゃんはおうちの外にもやつてきました。

ひかりちゃん 「あ、公園のベンチにも！

幼稚園の机にもみつけたよ！」

「こっちにも、あっちにも！」

ナレーション ひかりちゃんは

スプーンのキヨロキヨロに聞きました。

ひかりちゃん 「キヨロキヨロたちは、

いつたいどこからやってきたの？」

スプーン 「キヨロキヨロはみんな、

ある所からまちにきたんだ。

ぼくらの生まれた場所に案内するよ！  
どこだかわかるかな？」

(――ぬく――)

スプーン

「そう、

ぼくらキヨロキヨロが  
生まれたところは、

おおきな  
おおきな  
森の中！」

【演出ノート】

ナレーション

なんだか、  
元気なキヨロキヨロが、  
たくさん隠れています。

もつと中をのぞいてみましょー！

(――ゆっくりぬきながら――)



ぼくはキヨロキヨロ



ぼくはキヨロキヨロ

木1

木2

「さわさわ」  
「かさかさ」

ひかりちゃん

うれしさうじ

【演出ノート】  
木が楽しく  
おしゃべりして  
いるよ。

「わあ、大き～！」

「わあ、ゆれているよ！」

「キヨロキヨロがおどつてる！」

「キヨロキヨロがうたつてる！」

ナレーション

さわさわ、かさかさ、  
おしゃべりしたり。  
ごくごく、ぐんぐん、  
ごはんを食べたり。  
すやすや、しづかに、  
ねむつたり。

キヨロキヨロが楽しそうにすばらしいます。



ぼくはキヨロキヨロ

ナレーション

【演出ノート】

森には木をきる

きこりの おじさんがいて、  
キヨロキヨロたちに 声をかけます。

ナレーション

「さあさあ、君たちはおでかけだ」

木3

「あ。とうとうぼくらの出番がきたぞ。  
ぼくら、実は君たちのおじいちゃんや  
おばあちゃんと一緒の年。

だから、そろそろ行かなくちゃ」

ナレーション

おや？

このあたりにいるみんなは、  
今からどこかへ出かけるようです。  
いそいそ、ぱたぱた、みんなで旅じたく。

(―― ゆっくりぬきながら――)

ナレーション

「みんなどこにいくのー？」

ナレーション

とひかりちゃんが聞くと…



ぼくはキヨロキヨロ

木3 「ぼくは、つみきになるんだ。

みんなと一緒に遊ぶのが  
とってもたのしみ」

【演出ノート】

木4 「わたしは、おはしになるのよ。

おいしくごはんを食べてもらえるかな」

木5 「ぼくたちは、幼稚園や小学校でつかう、  
えんぴつになるんだ。

みんながたのしく絵を描けたり、  
文字を書けたりするんだよ」

ナレーション  
旅立つキヨロキヨロたちが教えてくれました。

どうやらみんなは、  
森から、近くのまちへ旅立つていくようです。

(――ぬく――)



ぼくはキヨロキヨロ

ナレーション

きこりのおじさんを先頭に、  
みんなで山を下りていきます。

【演出ノート】  
旅へでかけていく  
楽しそうす

木<sup>1</sup>

「森で生まれたぼくらは、  
何年も何十年もかけて  
すくすく元気に育つと、  
みんなのまちにやつてくるんだ」

木<sup>2</sup>

「ぼくらは、みんなと一緒に暮らすために、  
いろいろなかたちやおおきさに  
変身することができるんだ」

(――半分までぬく――)

木<sup>2</sup>

「だけど、ぼくらのちからだけでは  
思うように変身することができないよ」

(――全部ぬく――)

木

【演出ノート】

「大工さんや職人さんと一緒に、  
話しあつたり、  
かんがえたり、  
つくつたり、  
ああしたい、こうしたいと、  
たくさんのことをためしながら、  
いろいろなものに  
生まれ変わっていくんだよ」

ゆっくりと  
話かけるように

ナレーション そう、まずキヨロキヨロたちは  
職人さんの所へ立ち寄ります。

(――ぬく――)



ぼくはキヨロキヨロ



ぼくはキヨロキヨロ

職人1 「お、いい木だな。

いい目をしてる。

肌もつるつるできもちがいい。

ではでは、スプーンになつてもらおう」

職人2 「お、丈夫で強い子だな。

これはしつかりした

おうちの柱になつてもらおう」

職人3 「お、元気な子だな。

目がくりくりしてかわいいから、  
つみきになつてもらおう」

ナレーション

こうして、職人さんの手から、  
みんながようやくまちにやつてきます。



ぼくはキヨロキヨロ

スプーン

「ぼくらは、みんなと同じで、  
いのちのある生き物なんだよ」

【演出ノート】

ナレーション

ひかりちゃんは、そう話す

スプーンのキヨロキヨロに鼻を近づけました。

ひかりちゃん

「本当だ、とってもふにょい。

それに、やわらかくて、

なんだかあつたかいな」

ナレーション

ところど、

キヨロキヨロが旅立ってしまったあとの  
森のようすはどうでしよう?

(―― ゆっくりぬきながら――)

子どもたちに  
問いかける

また森の中をのぞいてみましょう。

ナレーション

あたたかい太陽のひかりが  
地面までそそがれ、  
森の中がキラキラしています。

木の仲間が出かけていった森は、  
少しきまがあいちやいました。

そこに、きりりのおじさんが、  
また新しい木を植えるのです。

そうやって

キヨロキヨロの子どもたちが、  
また何年も何十年もかけて育つと、  
今度はひかりちゃんの  
子どもや孫たちがつかう番になります。

未来のみんなのために  
木は植えられています。

【演出ノート】



ぼくはキヨロキヨロ

ナレーション

たくさんのひかりを浴びて、  
たくさんの雨の恵みをもらつて、  
木はだんだん大きくなつていきます。

鳥や動物や虫や花と一緒に、  
きれいいろいろの元気な森をつくります。

そして、わたしたち人間のために、  
おいしい水やおいしい空気を  
つくってくれるのも森なんですよ。

(――ぬく――)

【演出ノート】  
森のおだやかな  
ようす





ぼくはキヨロキヨロ

ナレーション

いろいろなものとして  
生まれ変わったキヨロキヨロは、  
森からやつてきた  
だいじなだいじな『いのち』です。  
『いのち』と一緒にわたしたちは暮らしています。

例えば、このえんぴつも。

このおはしも、このつみきも、このおわんも。

木でつくられた  
ものをもち出す

えんぴつを  
もち出す

わたしたちはそんな  
木という『いのち』にかこまれて、  
暮らしているのです。

みんなのまわりには、

どんなキヨロキヨロがいるかな？

きっと、みんなのそばにもかならずいるはず。  
みんなの森のキヨロキヨロを見つけてみてね。

子どもたちに  
問いかける

【演出ノート】